

アンケート機能、ノート機能、共有機能

小学校 第4学年 社会

「自然災害からくらしを守る」

- (1) ねらい なくなることのない風水害の備えや対処を、既習内容と関連付けながら考える活動を通して、普段から防災意識をもつことや、自分たちで正しい状況判断をしたり、家族や地域と協力したりすることの大切さに気づき、地域社会の一員として自分たちができることを分類しながら、自らの生活を見つめ直して深く考え、具体的に表現することができる。
- (2) 評価規準 学習したことを基に、仲間と話し合いながら、自分が本当に優先して行動できることを考え、自分の言葉で適切に表現することができている。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (11/11)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)						
導入	1 課題をつくる。 いつ起こるか分からない風水害から身を守るために、自分たちにできることは何か。	<ul style="list-style-type: none"> 県や市の災害事情に関する問題を共有し、「自分たちにできることは何か。」と問い、課題を解決するための必然性をもてるようにする。 						
	2 個人で追究し、全体で交流する。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">風水害への備え</th> <th style="width: 50%;">風水害への対処</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンケートを見ると、集合場所を分かっていない人がいる。いざという時のために家族と集合場所を決めたい。 西総合の倉庫には、非常食を備えているので、自分の家でも3日分の非常食を用意したい。 台風の際は風が強いので、気象情報などをよく確認して、飛ばされそうな物はあらかじめ、家の中に片付けたい。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの学校は土地が低く、木曾川に近いため、「9.28 災害」の時は水に浸かってしまうことがあったから、土地が高い場所に避難したい。 市役所や消防署など多くの人が対応しているので、緊急時に、指示をよく聞いて協力したい。 避難情報に関する情報を基に、状況によっては避難指示よりも前に避難する判断も必要。 </td> </tr> </tbody> </table> 普段の防災意識(集合場所・非常食・情報)、正しい状況判断(避難場所・協力・情報)	風水害への備え	風水害への対処	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを見ると、集合場所を分かっていない人がいる。いざという時のために家族と集合場所を決めたい。 西総合の倉庫には、非常食を備えているので、自分の家でも3日分の非常食を用意したい。 台風の際は風が強いので、気象情報などをよく確認して、飛ばされそうな物はあらかじめ、家の中に片付けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの学校は土地が低く、木曾川に近いため、「9.28 災害」の時は水に浸かってしまうことがあったから、土地が高い場所に避難したい。 市役所や消防署など多くの人が対応しているので、緊急時に、指示をよく聞いて協力したい。 避難情報に関する情報を基に、状況によっては避難指示よりも前に避難する判断も必要。 	【ICT活用の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> アンケート機能を用い、単元学習前に事前調査を行う。その結果を教室側面に掲示し、個人追究や全体交流の場で、活用できるようにする。 		
風水害への備え	風水害への対処							
<ul style="list-style-type: none"> アンケートを見ると、集合場所を分かっていない人がいる。いざという時のために家族と集合場所を決めたい。 西総合の倉庫には、非常食を備えているので、自分の家でも3日分の非常食を用意したい。 台風の際は風が強いので、気象情報などをよく確認して、飛ばされそうな物はあらかじめ、家の中に片付けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの学校は土地が低く、木曾川に近いため、「9.28 災害」の時は水に浸かってしまうことがあったから、土地が高い場所に避難したい。 市役所や消防署など多くの人が対応しているので、緊急時に、指示をよく聞いて協力したい。 避難情報に関する情報を基に、状況によっては避難指示よりも前に避難する判断も必要。 							
展開	3 ゲストティーチャー(市役所防災課の人)の話を聞く。<深めの働きかけ> すばらしい意見ばかりで、防災のことについてよく勉強していることが分かりました。ただ、勉強したり、考えたりしただけで本当に大丈夫でしょうか。市でも市民の防災意識を高めるために、防災マップを配ることをしていますが、市や地域で行える備えにも限界があります。災害が起きた時に「誰かが助けてくれるだろう」という軽い考えでは、いざという時に自分の身を守ることはできません。今一度、考えたことを見つめ直し、自分が本当にできることを考えて実行してほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにできることが明らかになった段階で、全体の意見を基に、「普段の防災意識・正しい状況判断」に集約し、社会への関わり方を考える視点を明確にする。 「自分はっきり調査」を基にして、学習前と比べて、自己の災害に対する認識がどの程度深まったのかという視点で振り返るように促す。 						
	4 「自分」「家」「地域・市」の3つの視点に分類をし、それを基に自分の生活を振り返り、自分が本当にできることを考える。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">自分</th> <th style="width: 33%;">家</th> <th style="width: 33%;">地域・市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美濃加茂市の放送を自分は関係ないと思い、よく聞いていない時がある。避難情報が出た時に困るので、普段から広報をよく聞くようにしたい。</td> <td>家に非常食は用意してあるけれど、確認してみると、家族3日分の量より少なかった。家族にお願いして、最低限必要の物や量を準備して備えたい。</td> <td>台風などで飛ばされそうな物を公園や道路で見かけたら、危ないので、市や地域の人に伝えたいし、自分の周りには置かないようにしたい。</td> </tr> </tbody> </table>	自分	家	地域・市	美濃加茂市の放送を自分は関係ないと思い、よく聞いていない時がある。避難情報が出た時に困るので、普段から広報をよく聞くようにしたい。	家に非常食は用意してあるけれど、確認してみると、家族3日分の量より少なかった。家族にお願いして、最低限必要の物や量を準備して備えたい。	台風などで飛ばされそうな物を公園や道路で見かけたら、危ないので、市や地域の人に伝えたいし、自分の周りには置かないようにしたい。	【ICT活用の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 「自分が本当にできること」を考える際に、協働学習支援ツールの共有機能を活用し、できた子から「本当にできるかどうか。」という視点で互いの考えた経緯について対話的に話し合うことで、選択・判断の根拠(自己の決め出し)をより確かなものにしていく。
自分	家	地域・市						
美濃加茂市の放送を自分は関係ないと思い、よく聞いていない時がある。避難情報が出た時に困るので、普段から広報をよく聞くようにしたい。	家に非常食は用意してあるけれど、確認してみると、家族3日分の量より少なかった。家族にお願いして、最低限必要の物や量を準備して備えたい。	台風などで飛ばされそうな物を公園や道路で見かけたら、危ないので、市や地域の人に伝えたいし、自分の周りには置かないようにしたい。						
終末	5 本時の学習を振り返る。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">自分</th> <th style="width: 33%;">家</th> <th style="width: 33%;">地域・市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・避難場所に行くその場所の特徴をみる。</td> <td>・3日分の非常食、家庭用缶などを備えておく、いざというときに役に立つ。</td> <td>・市役所防災課に学習するを通して、市役所防災課や、訓練の拠点などをしてみると、自然災害(風水害)が起きたときに、役に立つかもしれない。</td> </tr> </tbody> </table> 1. できた人は提出する。2. 立って交流する。3. 本番にできる事かどうか話し合う。	自分	家	地域・市	・避難場所に行くその場所の特徴をみる。	・3日分の非常食、家庭用缶などを備えておく、いざというときに役に立つ。	・市役所防災課に学習するを通して、市役所防災課や、訓練の拠点などをしてみると、自然災害(風水害)が起きたときに、役に立つかもしれない。
自分	家	地域・市						
・避難場所に行くその場所の特徴をみる。	・3日分の非常食、家庭用缶などを備えておく、いざというときに役に立つ。	・市役所防災課に学習するを通して、市役所防災課や、訓練の拠点などをしてみると、自然災害(風水害)が起きたときに、役に立つかもしれない。						